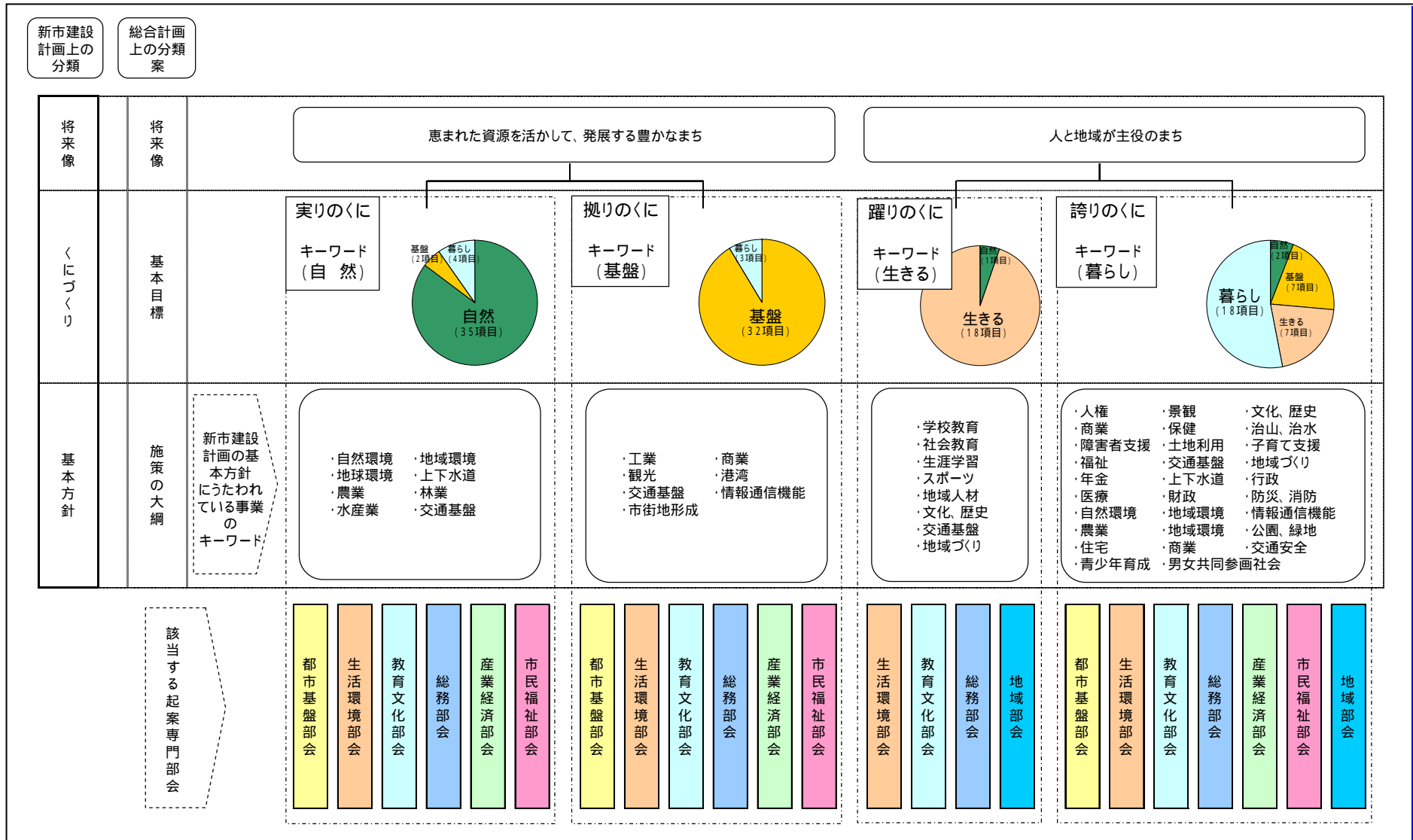


総合計画体系(案)の策定について

策定基本方針

- ・新市建設計画を基礎とする
- ・市民・行政に分かりやすい計画とする

新市建設計画の体系図



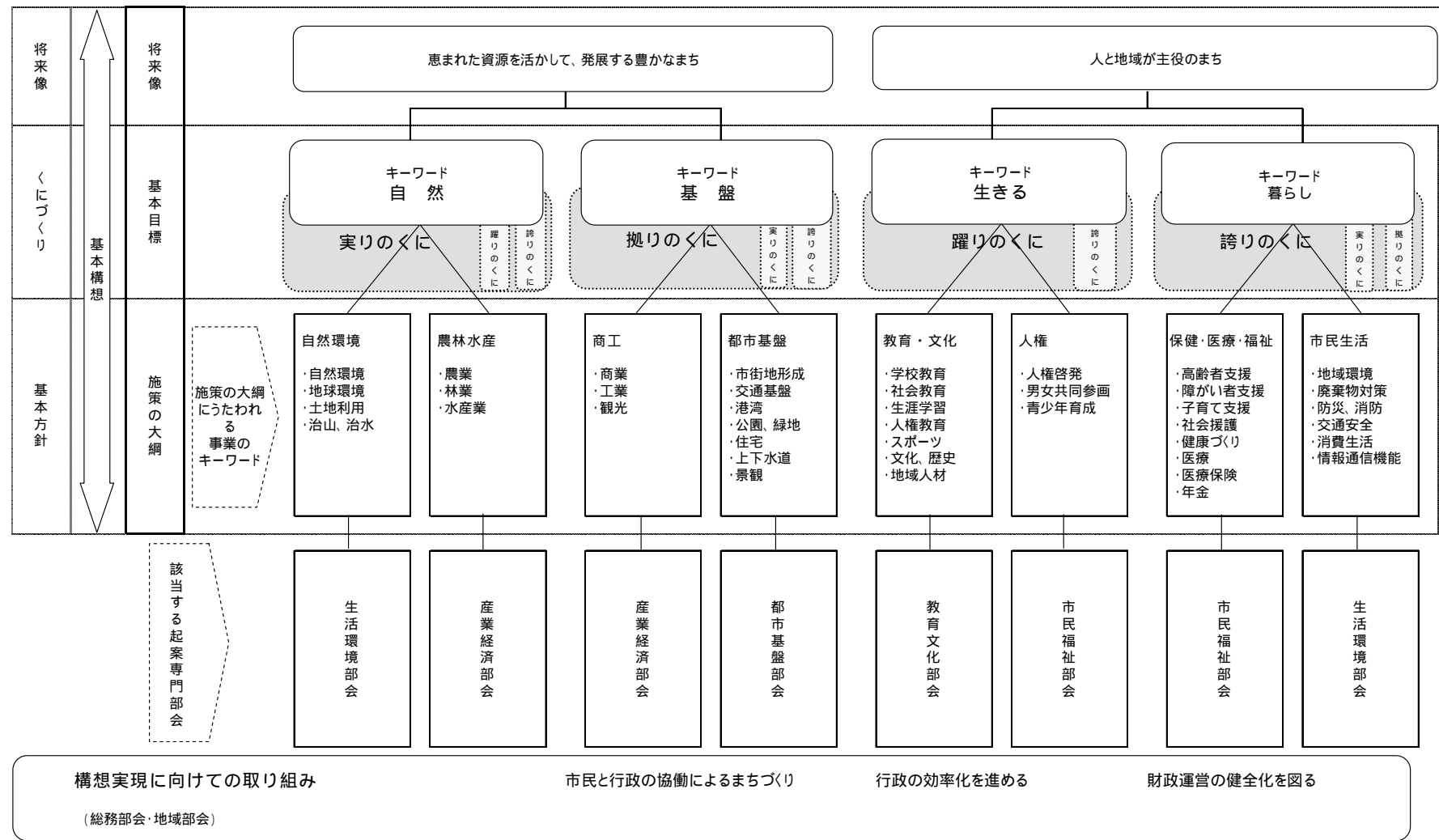
起案専門部会での主な意見

- ・1つの施策項目に複数の事業が混在している。
- ・表現が大まか・細か過ぎて施策の意味が不明。
- ・地域限定の事業が複数表現されている。
- ・行財政の推進は、施策の実現するための取り組みとして位置づけた方がいい。
- ・住民主体のまちづくりは施策の方策として柱立てした方が良い。
- ・4つの「くにづくり」は、表現の意味が分かりづらい。

新市建設計画を基に検討した 総合計画体系図案

新市建設
計画上の
分類

総合計画上の
分類案



起案委員会の主な意見

- ・基本目標である「実り」「拠り」「躍り」「誇り」の表現は、言葉の示す意味が分かりづらい。
- ・将来像では「～まち」、目標では「～くに」を使っている。
- ・「～くに」という表現を使わず、「実り」「拠り」「躍り」「誇り」の表現は残し、注釈をつけたらどうか。

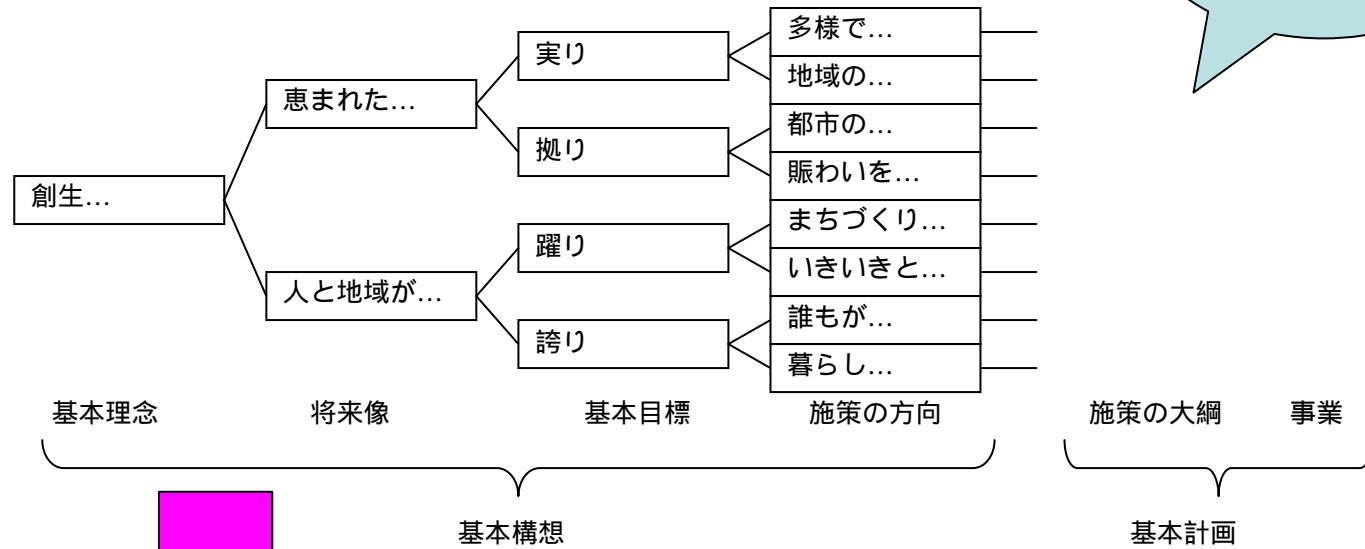
策定委員会の主な意見

- ・農林水産業と商工業が、「実り」、「掘り」に分かれている。「掘り」にまとめたらどうか。
- ・新市建設計画の体系で作業を進めているため、整理がつかず分かり難い状態になっているのではないか。
- ・新市建設計画は、あくまでもベースとしながら市民・行政にわかりやすい新たな体系や表現にした方が良いのではないか。

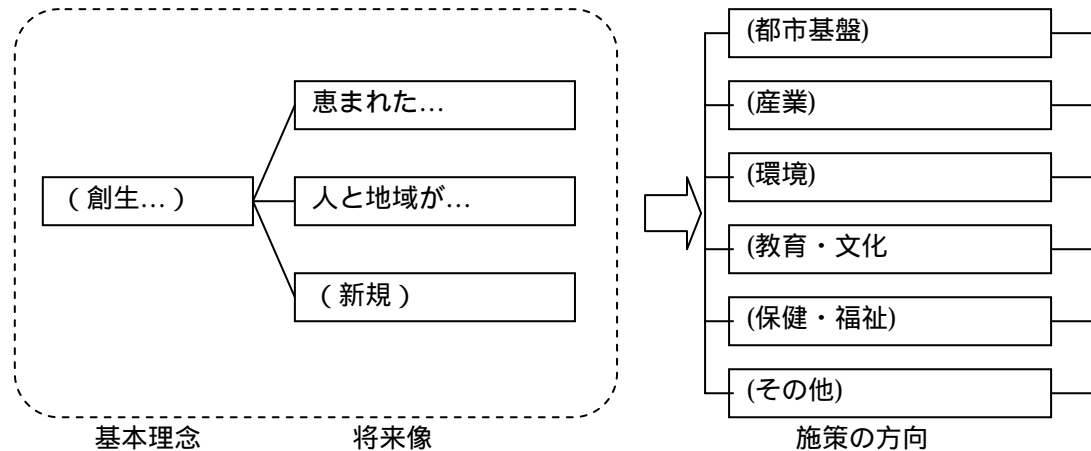
新たな体系案について

追加資料1
をご覧ください

新市建設計画



総合計画



新体系についてのポイント及び議論点

- 1 理念に基づく「将来像」の実現に向けて、各分野の施策(都市基盤、産業、環境など)を立てる。
(新市建設計画における4つの基本目標がなくなる)
- 2 市民、行政にとって施策分野(産業、環境、福祉、人権など)が明確となり、「具体的施策」の表現の統一化が図られる。
(新市建設計画の「施策の大綱」の表現が変わる)
- 3 計画の施策推進の方策が明確となる。(市民協働によるまちづくり、行財政経営など)
(新市建設計画には、無かったもの)